

# 学園祭レポート2009

## 高等学校

テーマは「Story」。素晴らしい物語を作りあげた3日間

芸能祭●9/23(祭) 24(木) 体育祭・後夜祭●9/25(金)

大アリーナ部門  
ミュージカル



メインテーマは、「当日だけでなく、準備の段階から学園祭。同じように結末だけではStory物語にならない。みんなで素晴らしい物語を作り上げよう」との想いを込めて「Story」。同時に生徒会執行部は、「かなでる」「まとまる」という意味を持つ「奏」を生徒会方針とした。



中庭西棟に掲げられた気球の絵

劇ミュージカル・音楽部門のクラスでは、キャストは練習、スタッフはそれぞれの作業を行い、学校の至るところで学園祭に取り組み姿が見られました。

当日は、中庭西棟の壁面に10m×7.5mの布に描かれた気球が掲げられ、中庭ステージで開会式が行われました。今年度は展示部門13、演劇部門4、ミュージカル部門4、音楽部門4、模擬店も16クラスが参加。生徒たちの優れた発想力や創意工夫に、毎年ながら感動させられました。

体育祭は新型インフルエンザの流行で学級閉鎖になったため参加できないクラスもありましたが、秋晴れの下、競技や応援に熱中した生徒の元気いっばいな声がグラウンドに響き渡りました。体育祭あとの後夜祭では、バンド演奏やダンス、火舞いが中庭ステージで披露されました。

以降は、展示クラスではテーマを深めるための調査・研究や展示物の作成、演劇・音楽部門は、展示から学園祭本番までの5か月間、生徒たちはさまざまな苦労や葛藤を乗り越え、仲間と一つのことを成し遂げた達成感を得ると共に、「淑徳魂」を身に付けたようでした。

展示部門



体育祭

## 中学校

観客を飽きさせない、充実した舞台が続いた芸能祭

芸能祭・展示●9/27(日) 28(月) 体育祭・後夜祭●10月下旬



芸能祭 演劇発表(3年)



展示

今年のテーマは「SHUKUTO KUSUKY 2009」。「淑徳晴れ・無限に広がる空」に向かって、澄み切った青い空の無限の高みまで伸びていきたいという生徒の思いが込められています。

一年間の最大行事である学園祭。1学期半ばから総合学習の時間などを使って、脚本選び、曲探しと準備を進めてきました。今年のプログラムは、1日目は3年5クラスの演劇と1年の合唱、2日目は2年の音楽と3年2クラスの演劇発表。しかし学園祭直前に新型インフルエンザのため学級閉鎖をしたクラスもあり、一部入れ替えて実施しました。

学園祭を経験するのが初めての



芸能祭 音楽発表(1年)



芸能祭 音楽発表(2年)

2年生はクラス合唱に取り組みの戸惑うこともあったようですが、本番が近づくと練習にも熱が入るようになり、当日は1年生らしい元気いっばいの歌声が舞台全体にあふれました。

3年生の演劇は、脚本選びが舞台の出来を左右するといってもよいので、クラスで時間をかけ何回も討論を重ねて脚本を選定し、本読み、立ち稽古、舞台稽古と積み重ねていきました。キャスト、裏方もそれぞれが自分の役割を果たしていく中で、クラスの団結も深まったようです。本番も観る者を飽きさせない緊張感のある舞台が続き、2日間を通じて充実した芸能祭となりました。

※学級閉鎖のため参加できなかった2クラスは、10月9日(金)7限に発表を行いました。

※体育祭は9月29日(火)の予定でしたが、新型インフルエンザの感染拡大防止のため、10月下旬に延期しました。